

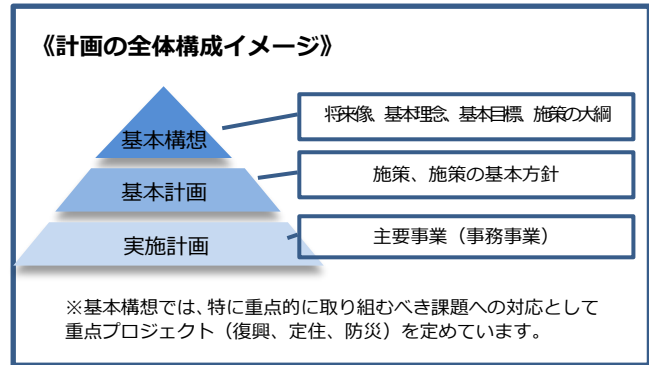
総合計画の概要

総合計画は、まちづくりの中長期的な羅針盤・設計図としての役割があり、この計画を基本に市の様々な分野の取組（教育、保健福祉、産業、都市基盤整備など）の展開が図られています。

■ 総合計画の体系(しくみ)

計画体系は、大きく「**基本構想**」・「**基本計画**」・「**実施計画**」の3つから成り立っています。

計画の期間としては、基本構想が10年、基本計画が5年、実施計画が3年（毎年度見直し）となっています。



このうち総合計画審議会では、「**基本構想**」及び「**基本計画**」部分について審議を行うこととなります。

■ 基本構想とは

基本構想とは、総合的かつ計画的な行政運営を行うために、目指すべき将来像や将来の基本目標・まちづくりの方向などのビジョンを、10年間の長期的な視点にたって示したもので、議会の要議決案件となっています。（計画書 P4~P5 参照）

■ 基本計画とは

基本構想で示したビジョンを実現するための施策の体系を示した中期計画です。計画期間は基本構想の期間のうち、前期計画と後期計画からなる各5年間となります。（計画書：総論 P36~P43、各論 P46~P119）

■ 実施計画とは

基本計画で示した施策体系に基づく具体的な事業計画です。実施計画は、各新年度予算を元に3か年を期間とした計画として作成し、どういった事業を具体的にどのように進めるのかを明らかにします。

基本計画と実施計画は、基本構想と基本計画の関係と同様に「目的」と「手段」の関係にあり、実施計画の内容は、基本計画の施策を達成するため、財政の裏づけをもって計画的に進めていく事業の集まりということになります（毎年度見直し）。

本宮市第1次総合計画体系図（現在の計画） ※計画期間は平成21年度～30年度まで

本宮市の将来像

『水と緑と心が結びあう未来に輝くまち もとみや』

- 【基本理念1】 豊かな自然を守り、市民が生きがいの持てるまちづくりをめざします
- 【基本理念2】 地域の主体性と歴史を尊重しつつ、市民相互の融和に努めます
- 【基本理念3】 地域の特性を活かし、発展するまちをめざします

基本施策の大綱

将来像の実現に向けて、まちづくりの「基本目標（5本の柱）」ごとに、各目標を達成するための手段として「基本施策（27本の柱）」を定め、計画を推進しています。

将来像	基本目標（5）	基本施策（27）
水と緑と心が結びあう未来に輝くまち もとみや	1. 豊かな心と創造性あふれる 人材育成のまちづくり	<ul style="list-style-type: none"> ① 子どもの生きる力を育む教育の推進 【学校教育、幼児教育など】 ② 青少年の健全育成の推進 【青少年教育など】 ③ 生涯学習の推進 【公民館活動、図書館、都市交流、多文化共生など】 ④ 生涯スポーツの推進 【スポーツ振興、体育館、プールなど】 ⑤ 文化財の保存と文化芸術活動の推進 【文化芸術振興、資料館など】
	2. 市民と行政の協働による 自立したまちづくり	<ul style="list-style-type: none"> ① 市民参画・協働と市民の視点に立った行政活動の推進 【広報広聴・活動など】 ② 地域コミュニティ活動の推進 【地域活動、行政区支援、集会所など】
	3. 共に支えあう やさしいまちづくり	<ul style="list-style-type: none"> ① 子育て支援の充実 【保育所、各種手当など】 ② 心と体の健康づくりの推進 【健康診査、予防接種、国保など】 ③ 高齢者福祉の充実 【高齢者支援、介護予防、シルバー人材センターなど】 ④ 障がい児・障がい者福祉の充実 【障がい者、障がい児支援など】 ⑤ 生活支援制度の適正な運用による自立支援 【生活困窮対策、国民年金など】 ⑥ 地域福祉の推進 【社会福祉協議会支援、民生、児童員など】 ⑦ 人権尊重と男女共同参画社会の推進 【人権相談、男女共同参画啓発など】
	4. 活力ある ふるさとのまちづくり	<ul style="list-style-type: none"> ① 地域の特性を活かした農林業の振興 【農林業振興、担い手育成など】 ② にぎわいと魅力あふれる商業の振興 【商工団体支援など】 ③ 活力ある工業の振興 【企業立地推進、工業団地管理】 ④ 勤労者の雇用対策と就労環境の充実 【地域雇用支援など】 ⑤ 旅人を癒す観光資源の活用と物産振興 【観光振興、団体支援など】
	5. 安全・安心な 環境のまちづくり	<ul style="list-style-type: none"> ① 環境保全・美化対策の推進 【環境美化、再生エネルギー普及、除染など】 ② 安全・安心な水環境の形成 【水道、下水道、合併処理浄化槽など】 ③ 快適な住環境の形成 【生活道路、住宅政策、市営住宅、公園緑地など】 ④ 消防・防災体制の充実 【消防団、防災・減災など】 ⑤ 防犯・消費者保護対策の推進 【防犯灯、防犯活動支援、消費生活相談など】 ⑥ 交通安全対策の推進 【交通安全活動、団体支援、交通安全施設など】 ⑦ 計画的な土地利用の推進 【国土利用計画、都市計画マスタープラン、農業振興地域整備計画、開発事業連絡調整など】 ⑧ 都市基盤の形成【幹線道路、治山治水、中心市街地整備、公共交通体系など】

重点プロジェクト

基本施策のほか、特に重点的に取り組むべき課題として「重点プロジェクト（3本の柱）」を定め、施策横断的に取り組んでいます。

1 未来につながる「震災・災害からの復興」プロジェクト 【復興・創生計画関係】

2 定住促進につながる「住みよいまちづくり」プロジェクト 【住みたいふるさともとみや創生総合戦略関係】

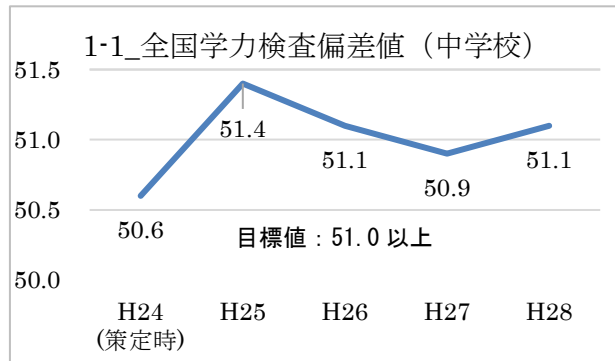
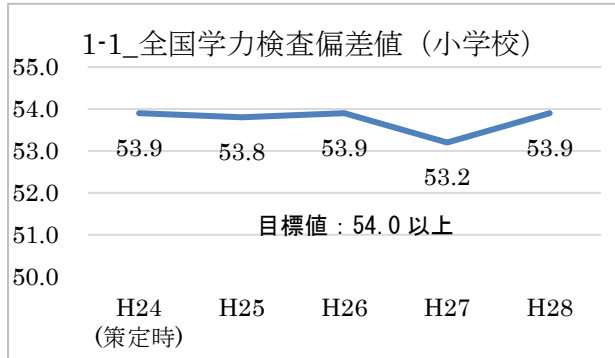
3 安心につながる「災害に強いまちづくり」プロジェクト 【地域防災計画関係】

指標からみる本宮市の状況（抜粋）

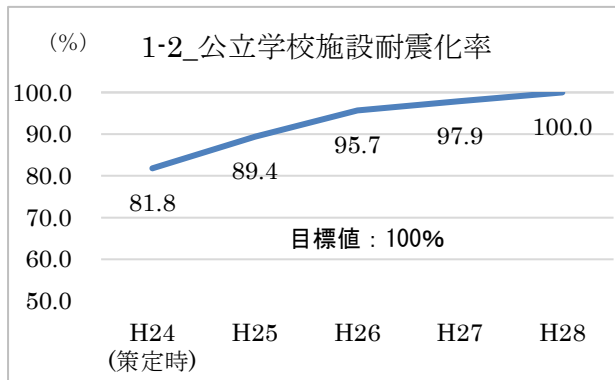
1 基本施策

(1) 教育（豊かな心と創造性あふれる人材育成のまちづくり）

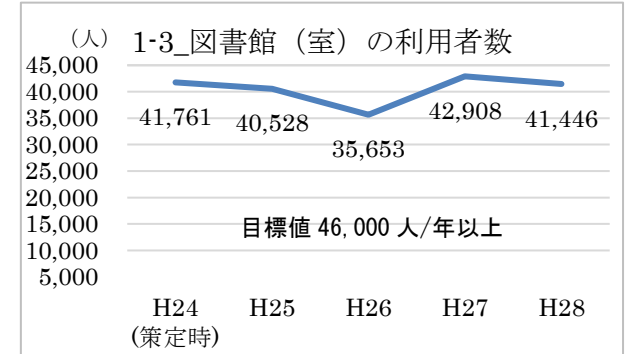
① 全国学力検査偏差値（小学校、中学校）



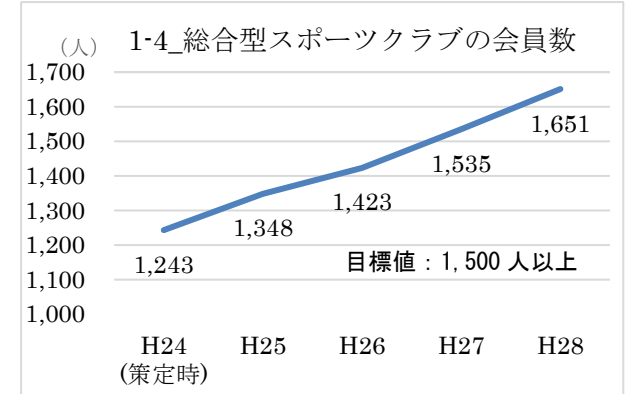
② 公立学校耐震化率



③ 図書館（室）の利用者数

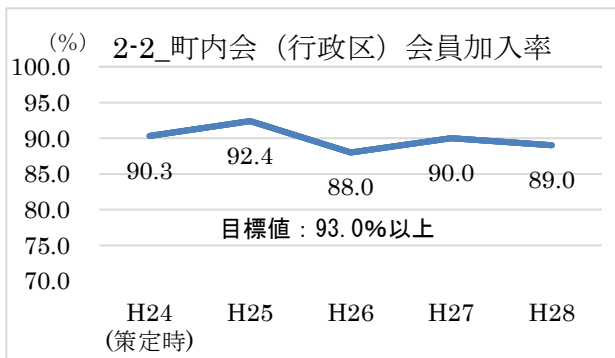


④ 総合型スポーツクラブの会員数

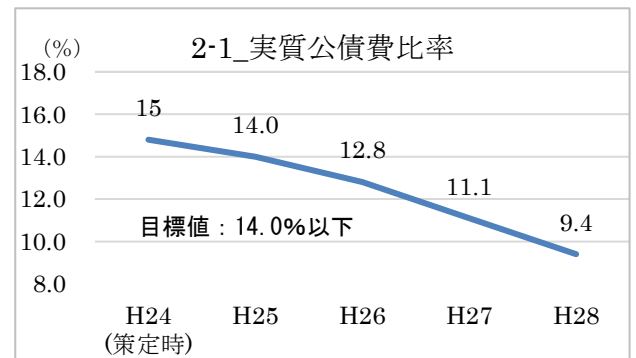


(2) 市民・行政活動（市民と行政の協働による自立したまちづくり）

① 町内会（行政区）会員加入率

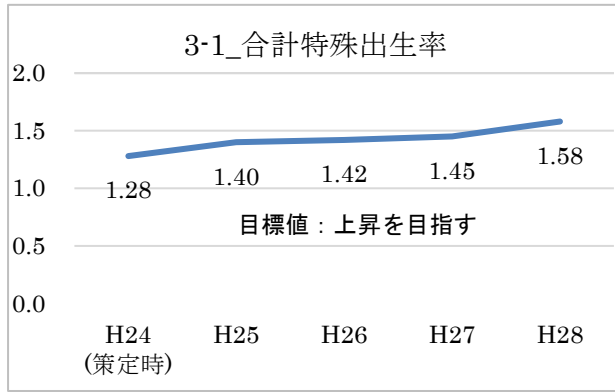


② 実質公債費比率

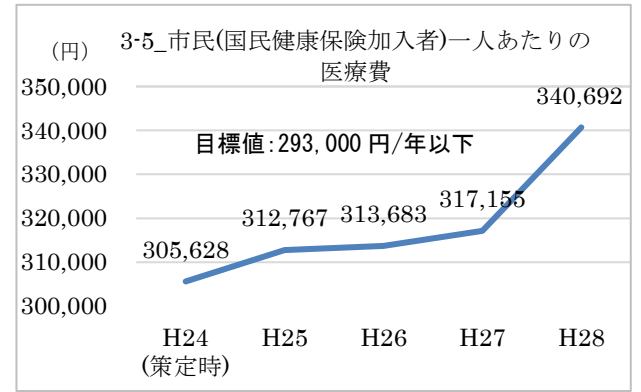


(3) 子育て・健康・福祉（共に支えあうやさしいまちづくり）

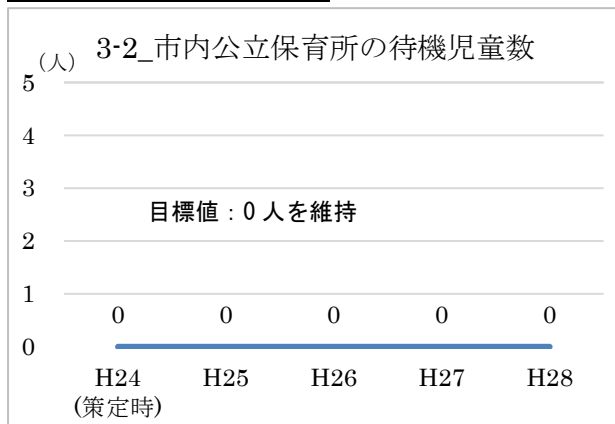
① 合計特殊出生率



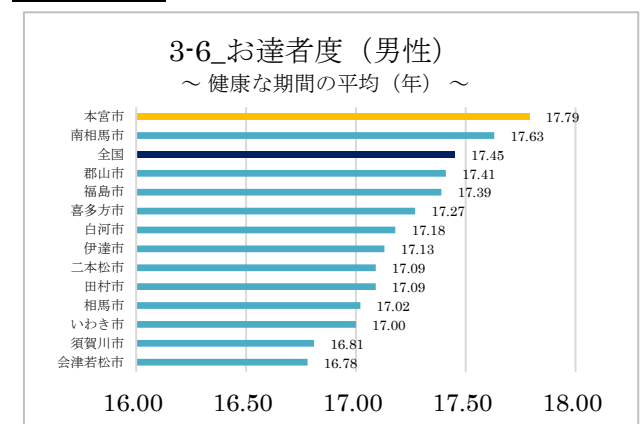
⑤ 市民（国保加入者）一人あたりの医療費



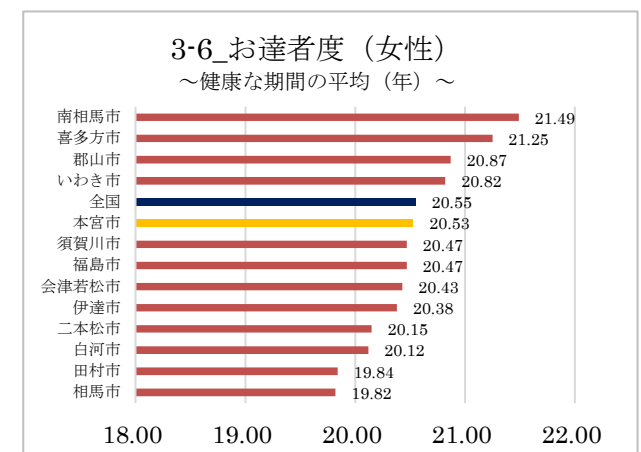
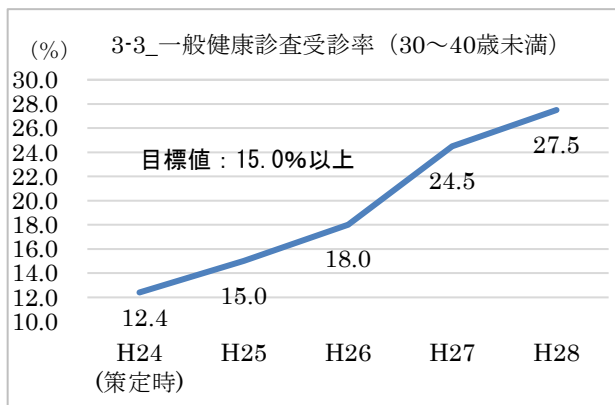
② 公立保育所待機児童数



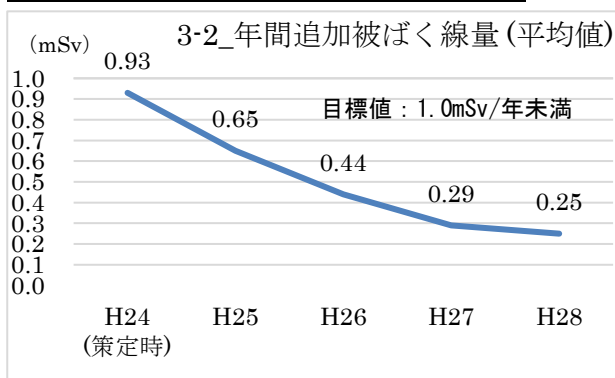
⑥ お達者度



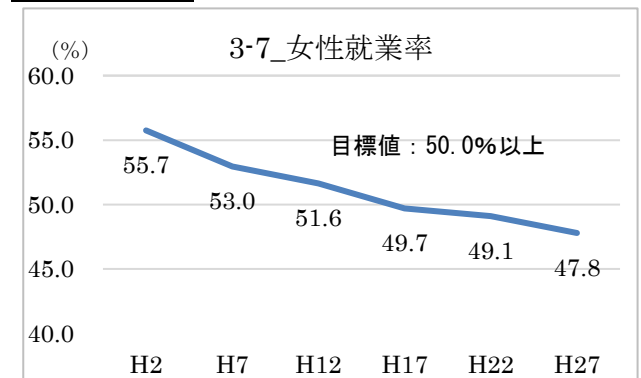
③ 一般健康審査受診率（30～40歳未満）



④ 年間追加被ばく線量（ガラスバッチ）



⑦ 女性就業率

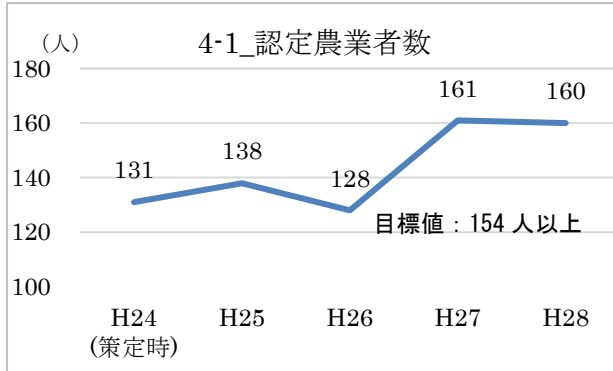


※年間追加被ばく線量…(空間線量率-自然由来の放射線量率)×滞在時間。

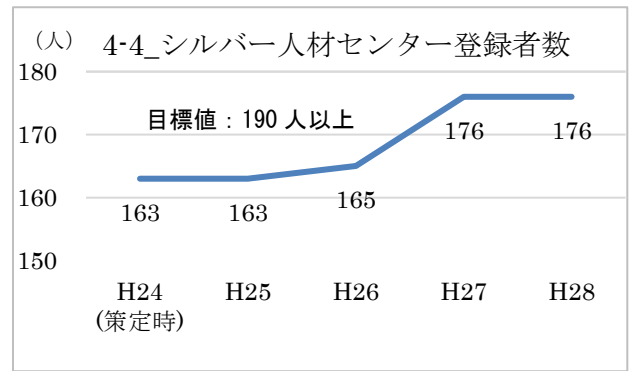
1.0mSv(ミリシーベルト)/年を、時間あたりの空間線量率に換算すると
0.23μSv(マイクロシーベルト)/時

(4) 産業（活力あるふるさとのもちづくり）

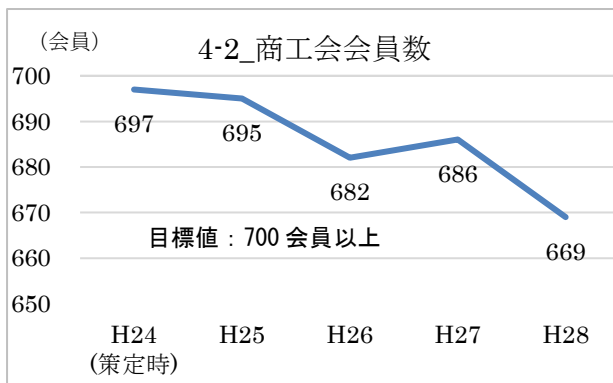
① 認定農業者数



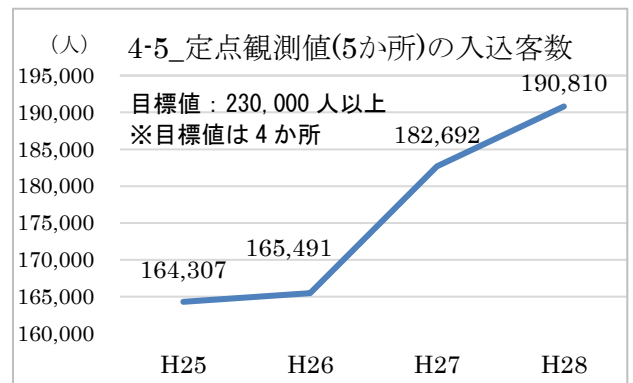
④ シルバー人材センター登録者数



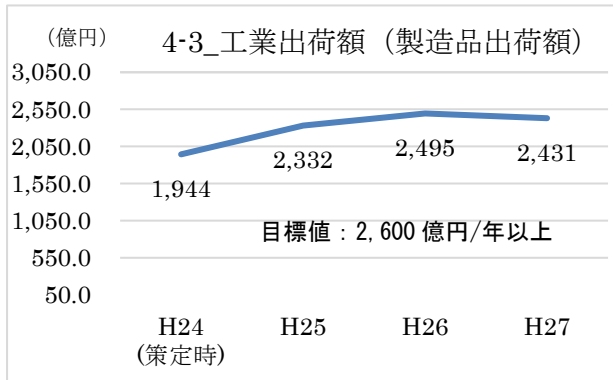
② 商工会 会員数



⑤ 定点観測値（5か所）の入込数

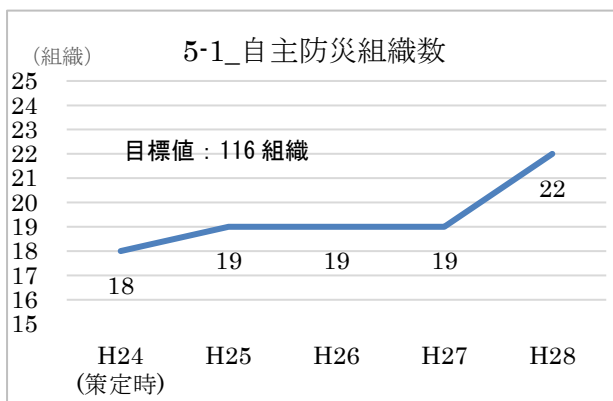


③ 工業出荷額（製造品出荷額）

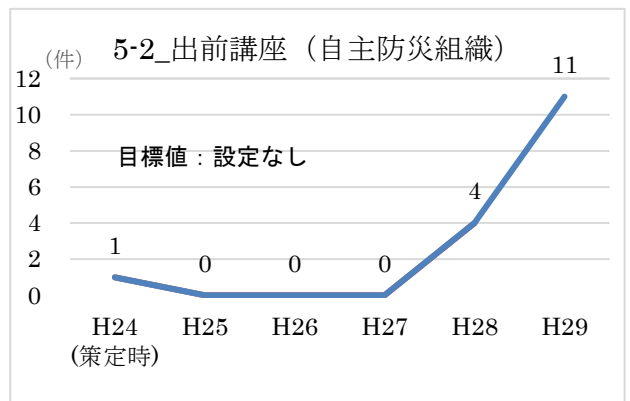


(5) 安全・安心・環境・快適（安全・安心な環境のもちづくり）

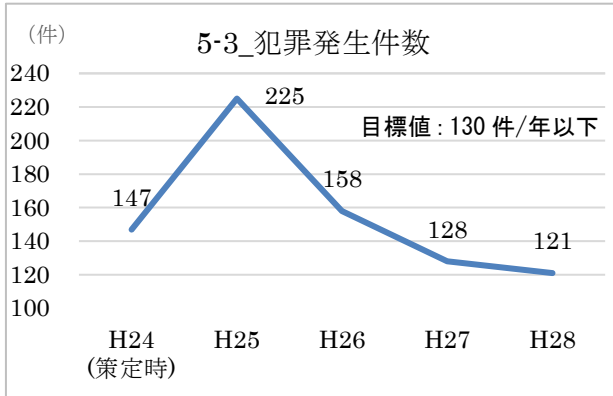
① 自主防災組織数



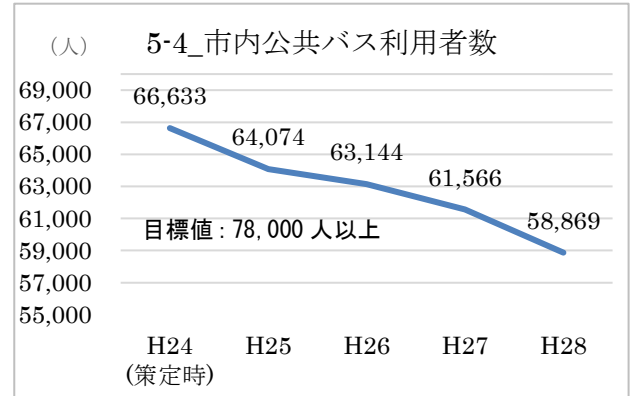
② 出前講座（自主防災組織）



③ 犯罪発生件数



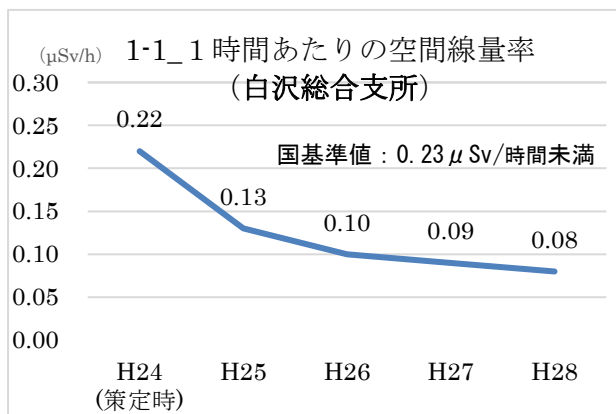
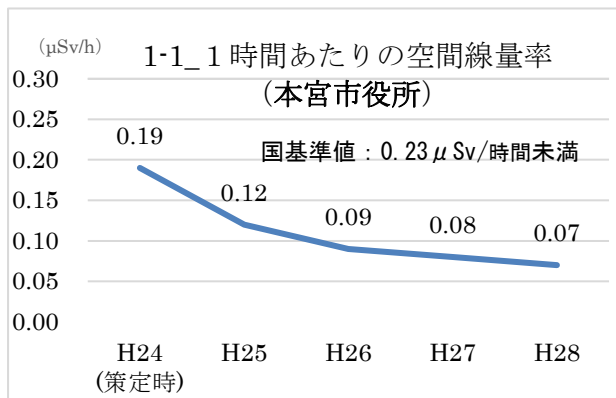
④ 市内公共バス利用者数



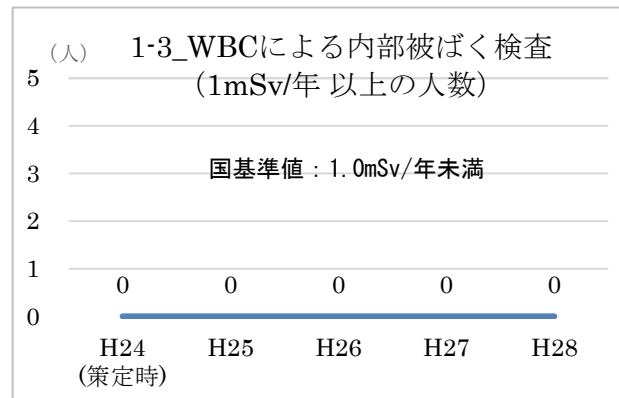
2 重点プロジェクト

(1) 復興（未来につながる「震災・災害からの復興」プロジェクト）

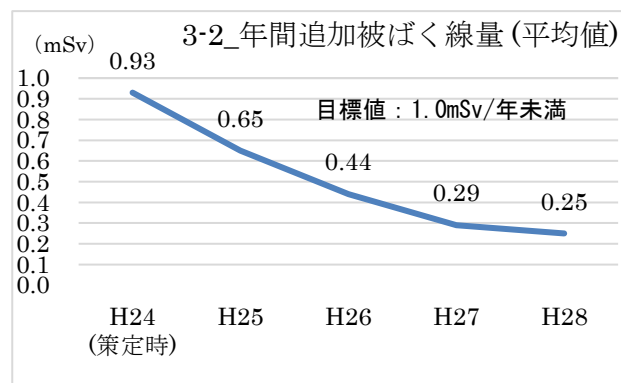
① 空間線量率（各年度末の値）



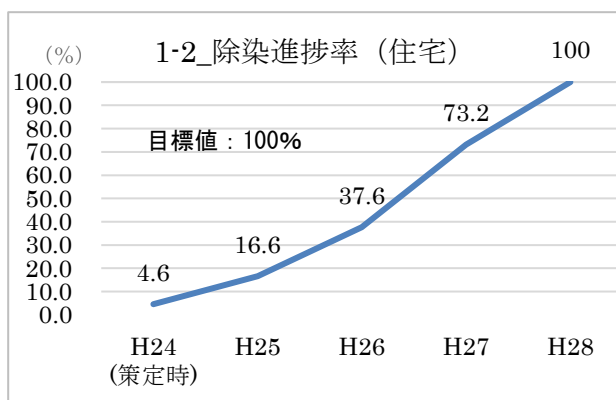
③ 内部被ばく（ホールボディカウンタ）



④ 外部被ばく（ガラスバッジ）※再掲



② 除染進捗率（住宅除染）



※年間追加被ばく線量…(空間線量率－自然由来の放射線量率)×滞在時間。

1.0mSv(ミリシーベルト)/年を時間あたりの空間線量率に換算すると0.23μSv(マイクロシーベルト)/時

⑤ 市民意識の状況

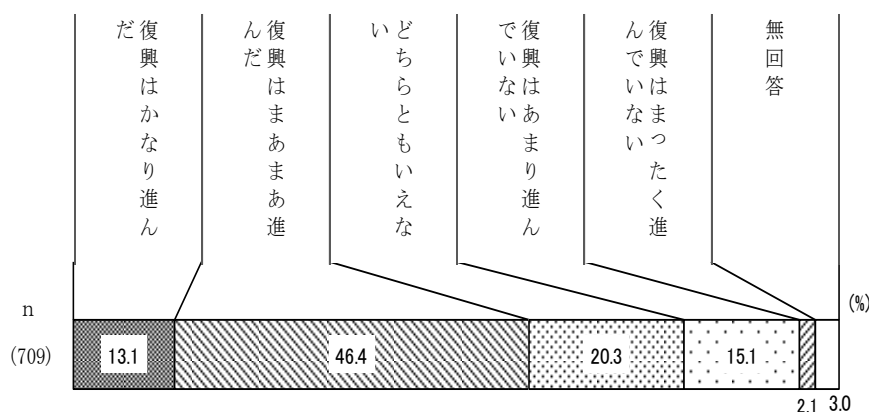
《本宮市の東日本大震災及び原発事故からの復興について》

※市民意識調査結果〔速報〕より抜粋

(1) 復興の状況

- 復興状況については、「復興はまあまあ進んだ」が46.4%と最も多く、「復興はかなり進んだ」(13.1%)とあわせると、《復興が進んでいる》と感じている人は約6割を占める。

問11 あなたは、本宮市の復興が進んでいると思いますか。(○を1つお付けください。)



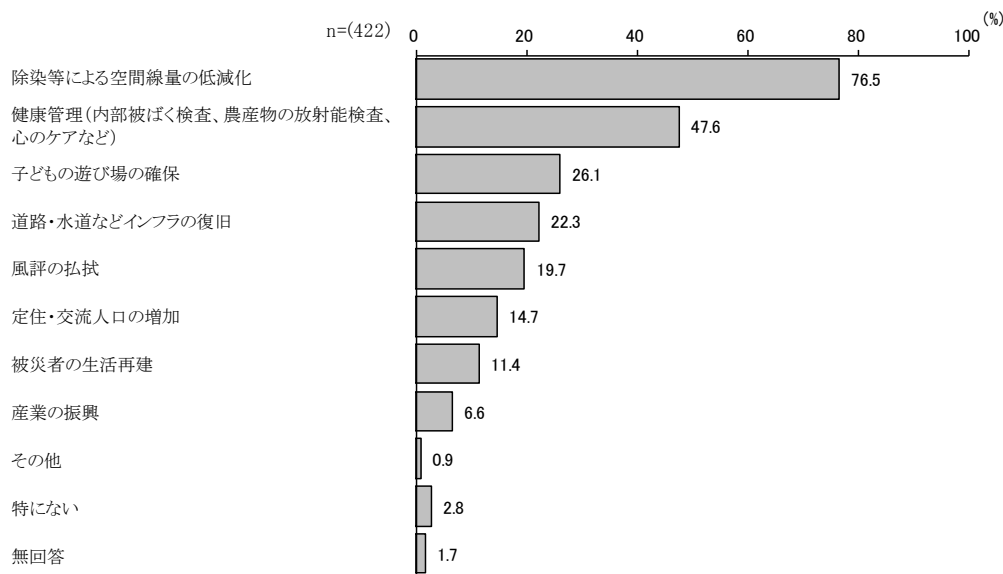
(2) 復興が進んだと判断する際の要因

- 復興が進んだと判断した要因としては、「除染による空間線量の低減化」が76.5%とトップ。以下、「健康管理（内部被ばく検査、農産物の放射能検査、心のケアなど）」(47.6%)。

【「復興は進んだ」(問11で「1」～「2」)と答えた方のみ】

問11-1 あなたにとって、復興が進んだと判断する際の要因は何ですか。

(あてはまるものすべてに○をお付けください。)



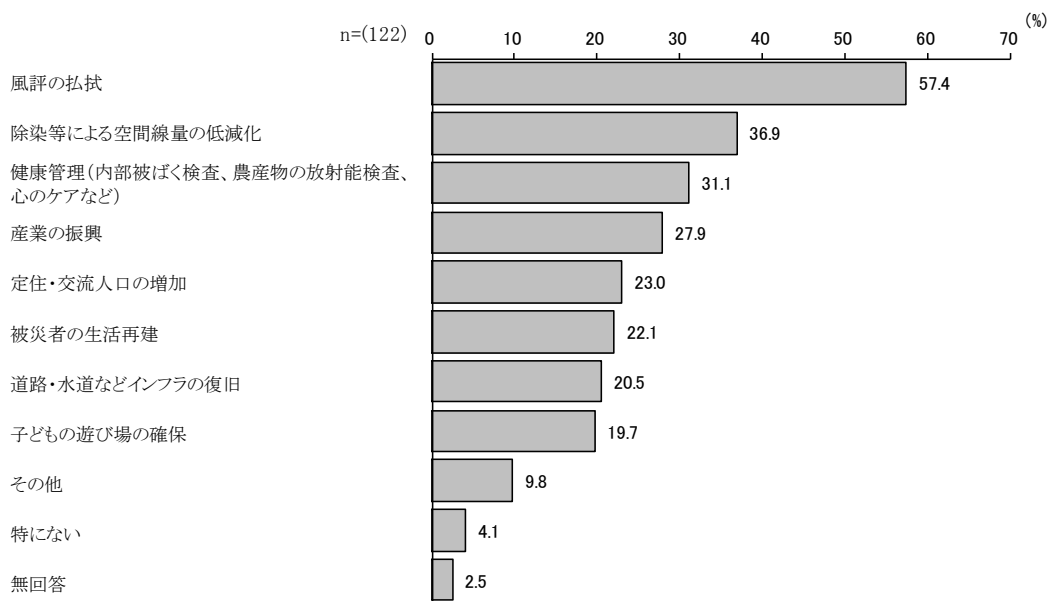
(3) 復興が進んでいないと判断する際の要因

- 復興が進んでいないと判断した要因としては、「風評の払拭」が57.4%とトップ。以下、「除染等による空間線量の低減化」(36.9%)。

【「復興が進んでいない」(問11で「4」～「5」)と答えた方のみ】

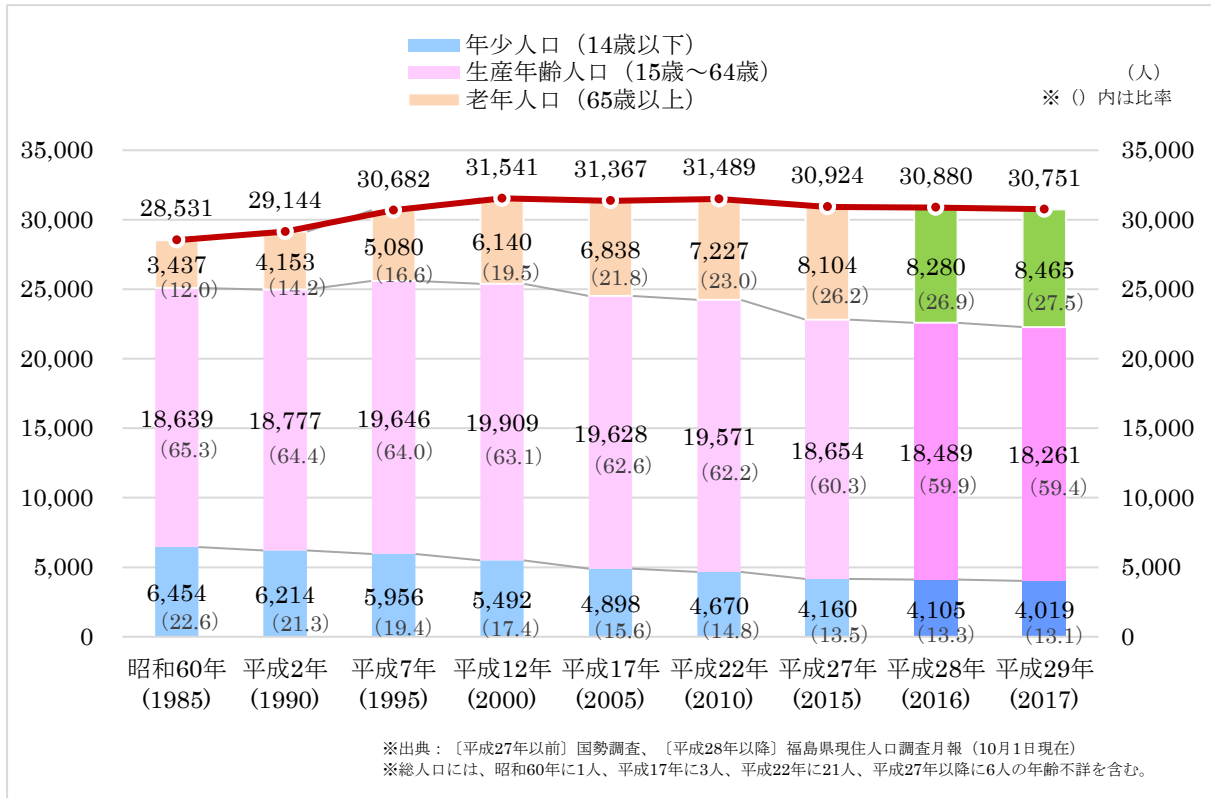
問11-2 あなたにとって、復興が進んでいないと判断する際の要因は何ですか。

(あてはまるものすべてに○をお付けください。)

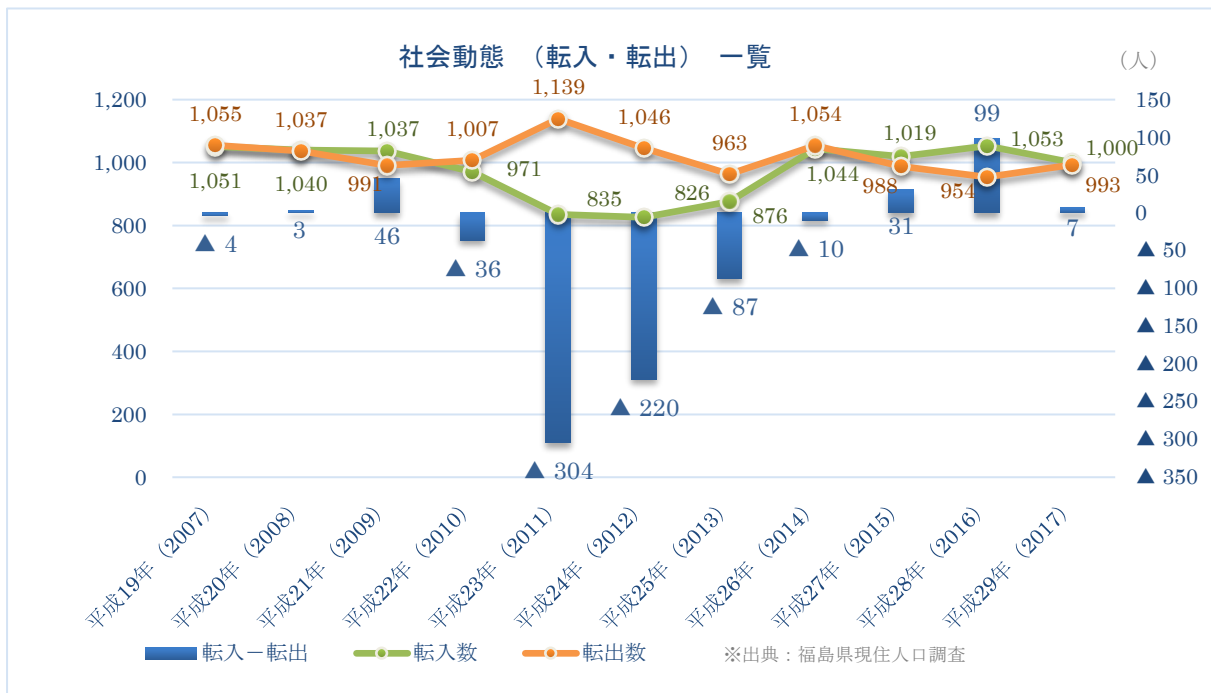


(2) 定住促進（定住促進につながる「住みよいまちづくり」プロジェクト）

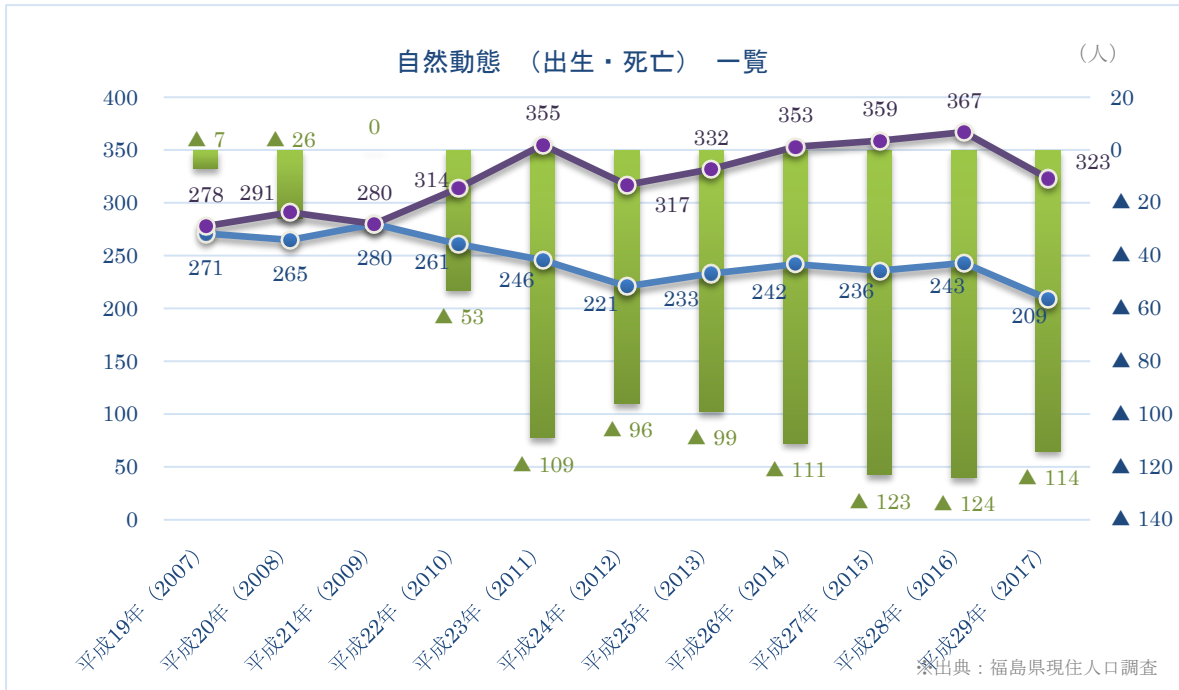
① 人口の推移



② 社会動態人口（転入及び転出）の推移



③ 自然動態人口（出生及び死亡）の推移



④ 市民意識の状況

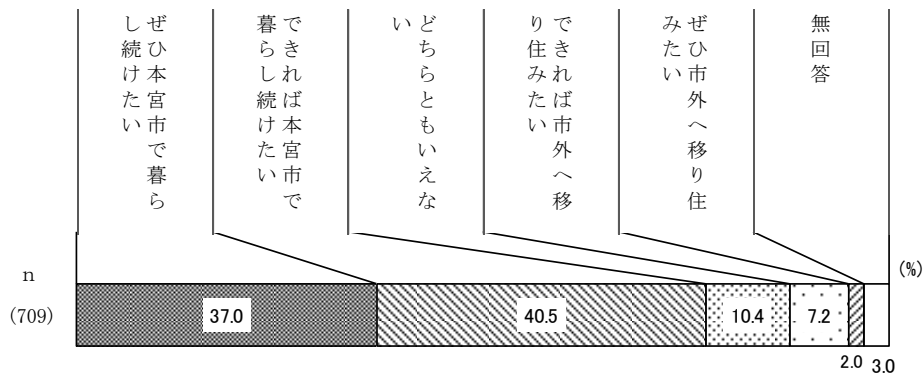
《本宮市での暮らしについて》 ※市民意識調査結果〔速報〕より抜粋

(1) 今後の居留意向

- 今後の居留意向については、「できれば本宮市で暮らし続けたい」が40.5%と最も多い。
- 「ぜひ本宮市で暮らしたい」(37.0%)とあわせると《居留意向》は77.5%。4人中3人が今後も本宮市での居住を希望している。

問12 あなたは、これからも本宮市で暮らし続けたいと思いますか。

(○を1つお付けください。)



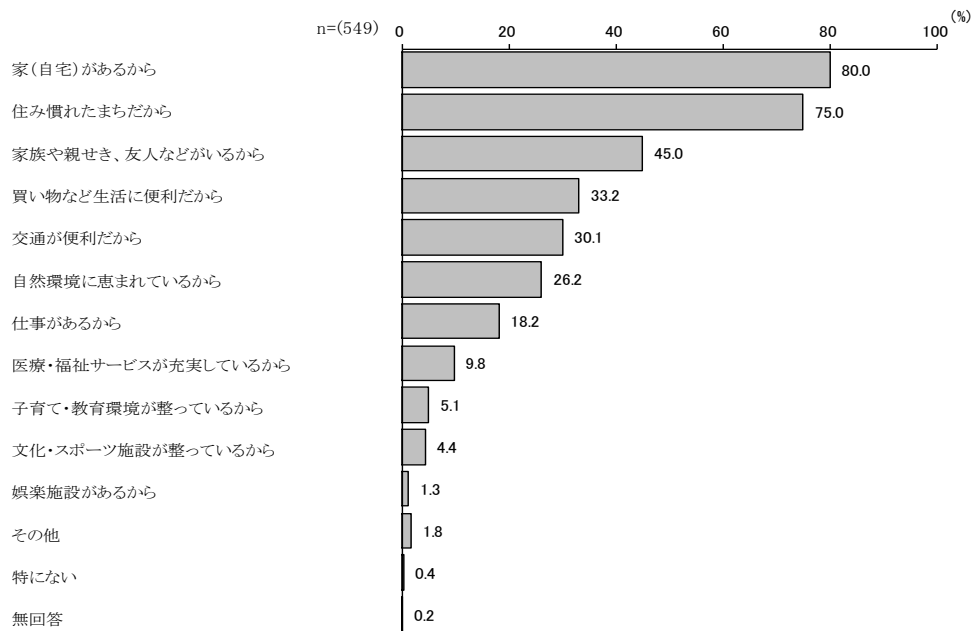
(2) 本宮市に暮らし続けたい理由

- 本宮市で暮らし続けたい理由は、「家(自宅)があるから」が80.0%とトップ。以下、「住み慣れたまちだから」(75.0%)など。

【本宮市で暮らし続けたい(問12で「1」～「2」)と答えた方のみ】

問12-1 本宮市で暮らし続けたいと思う理由は何ですか。

(あてはまるものすべてに○をお付けください。)



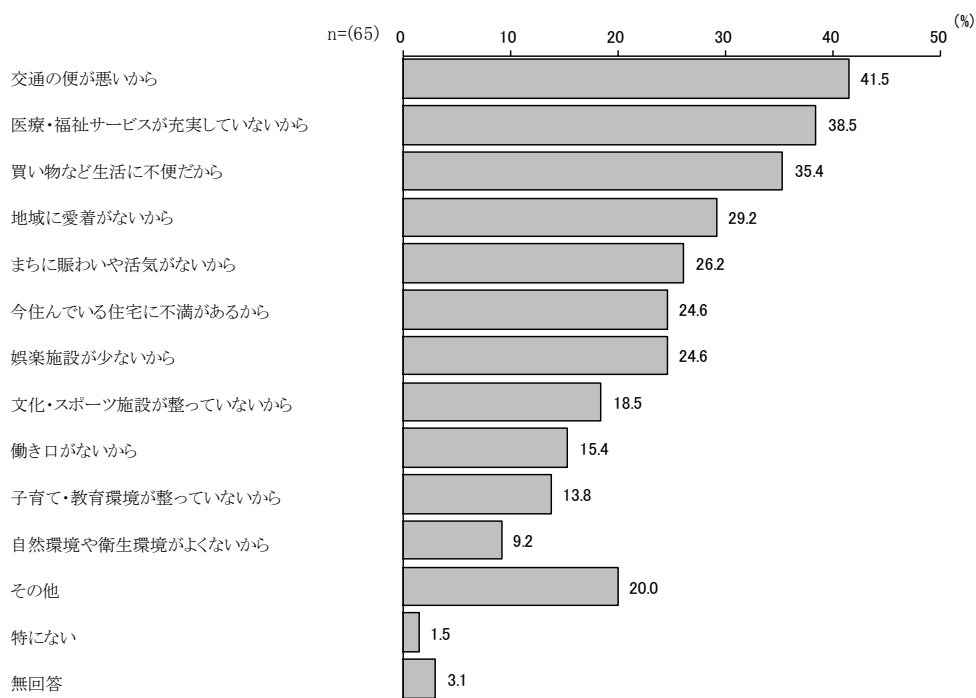
(3) 市外に移り住みたい理由

- 市外に移り住みたい理由は、「交通の便が悪いから」が41.5%とトップ。以下、「医療・福祉サービスが充実していないから」(38.5%)など。

【本宮市外に移り住みたい(問12で「4」～「5」)と答えた方のみ】

問12-2 市外に移り住みたいと思う理由は何ですか。

(あてはまるものすべてに○をお付けください。)

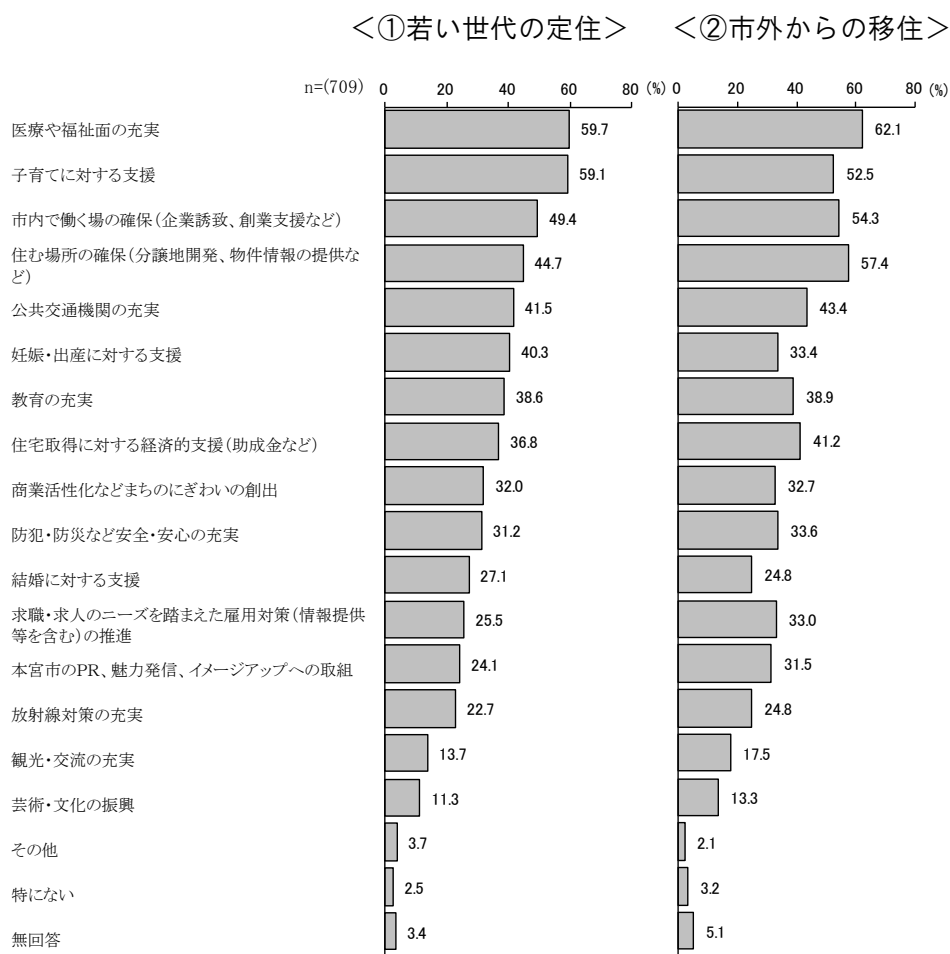


《本宮市への定住・移住について》 ※市民意識調査結果〔速報〕より抜粋

(1) 本宮市への定住・移住

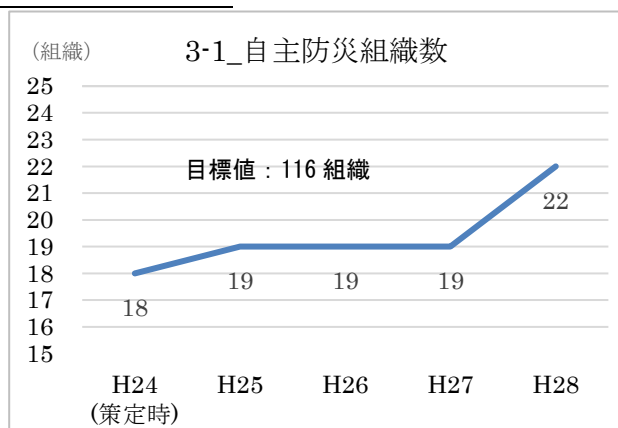
- 若い世代の定住に向けた取り組みとしては、「医療や福祉面の充実（59.7%）」「子育てに対する支援（59.1%）」へのニーズが高い。
- 市外からの移住増加に向けた取り組みとしては、「医療や福祉面の充実（62.1%）」がトップ。若者の定住促進に比べ、住宅や就労に関するニーズが高い。

問 1 3 若い世代が本宮市に住み続けたり、市外にお住まいの方が本宮市に移り住みたいと思えるようにするには、どのような取組が重要だと思いますか。それぞれについてお答えください。（あてはまるものすべてに○をお付けください。）

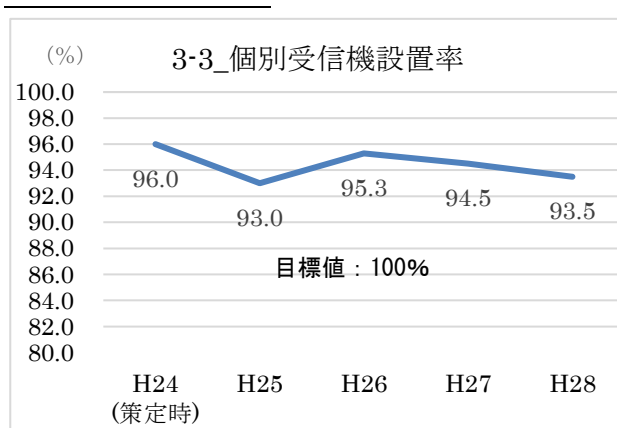


(3) 防災・減災（安心につながる「災害に強いまちづくり」プロジェクト）

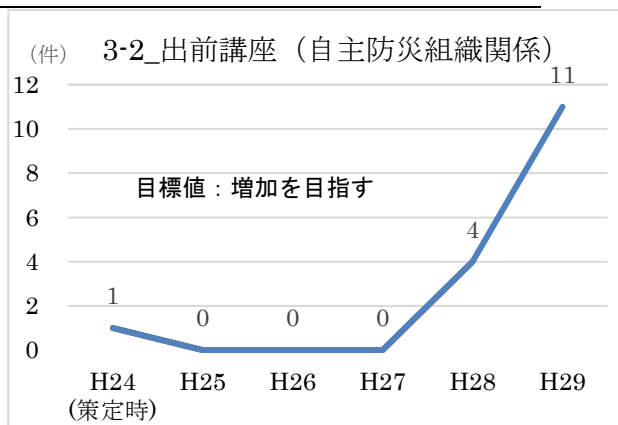
① 自主防災組織数 ※再掲



③ 個別受信機設置率



② 出前講座実施件数（自主防災組織関係）



④ 消防団員数

